科目名	心理学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	福井　博一
		授業形態	講義		有		
（英）	Psychology	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科Ⅱ部	単位	2			曜日/時間	7限

講師紹介	保有資格：公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士 略歴：精神病院、総合病院精神科、企業の相談室等で、カウンセリングや心理検査を行い、豊富な実務経験を有する。講師として、専門学校をはじめ大学・大学院等において、心理学や臨床心理学の講義を行う。
目的	対人援助職である視能訓練士として、人の心理・発達について理解し、説明することができるようになることを目的とします。 具体的には、多様な環境に置かれた、あらゆる世代の人々の心理・発達を学習することにより、資格者として、援助を求める人々と実践的にかかわることができるようになるための基礎を身に付けることを目的とします。
科目概要	心理学の中でも、特に、発達心理学を中心に据えて、幅広い視点で人の心をとらえていきます。
到達目標	視能訓練士は、れっきとした対人援助職です。 皆さんが資格者としてかかわる人々は、たんに視覚によってのみ生きているわけではありません。目は、その人の一部にほかなりません。 その人そのものとかかわるために、聴くこと、知ること、考えること、理解すること、そして実践することができることを到達目標とします。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	特に指定しません。講師作成の資料を配布します。	事前事後学習とその内容	予習は必要ありません。復習をしっかりと行ってください。 また、授業で学習した事柄を、日常生活にあてはめて考え、実践することは、とても重要な事後学習になります。
参考図書	適宜紹介します。		
特記事項	学生の皆さんには、授業中、折に触れて資料を読んでもらうなり、意見等・声をあげてもらうなりしながら進めます。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション・心理学概説	講義	・心理学を学ぶ目的・予定・方法について説明する。 ・心理学、心について考える。 ・発達区分について説明する。
2	人の発達	講義	・人の発達について考え、説明する。 ・乳幼児期の身体発達について考え、説明する。
3	親子関係と心の発達～その1～	講義	・幼少期の親子関係について考え、説明する。 ・幼少期の親子関係が、その後の対人関係に影響を与えることについて考え、説明する。
4	親子関係と心の発達～その2～	講義	・ひきこもりについて考え、説明する。 ・反抗期について考え、説明する。
5	親子関係と心の発達～その3～	講義	・不安について考え、説明する。 ・不安の発生源について考え、説明する。 ・感情の発達について考え、説明する。
6	親子関係と心の発達～その4～	講義	・乳児期のスキンップについて考え、説明する。 ・親子の愛着について考え、説明する。
7	性格について	講義	・性格について考え、説明する。 ・心理検査を通して、対人援助職者として、自らの性格について理解する。
8	復習試験	講義	・1回目から7回目までの復習を行い、試験を実施する。
9	児童期の発達～その1～	講義	・児童期の発達について考え、説明する。 ・道徳について考え、説明する。 ・ギャング・エイジについて考え、説明する。
10	児童期の発達～その2～	講義	・いじめの背景について考え、説明する。 ・いじめ防止のための対策について考え、説明する。
11	思春期の発達～その1～	講義	・思春期について考え、説明する。 ・友人関係について考え、説明する。 ・恋愛関係について考え、説明する。
12	思春期の発達～その2～	講義	・性と心の結びつきについて考え、説明する。 ・乳幼児期～思春期のさまざまな性行動について考え、説明する。
13	発達障害	講義	・発達障害とはどのような障害かということについて説明する。 ・発達障害の種類と特徴について説明する。
14	カウンセリング技術	講義	・カウンセリングとは何かについて説明する。 ・カウンセリングにおける技術について説明する。
15	定期試験	講義	・定期試験を実施する。

科目名	人体の構造と機能	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	脇　雅子
		授業形態	講義				
（英）	Structure and Function of Human Body	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	土曜日　1・2限

講師紹介	医学博士号を持ち、長年医学部で研究と教育に携わる。滋慶学園ならびに医療系専門学校で基礎医学全般を教授する
目的	事態を構成する器官の構造と機能を理解し、医学的知識を習得する上での基礎知識を幅広く身に着ける
科目概要	細胞、組織を基礎として人体の構造と機能を理解する
到達目標	視能訓練士として必要な医学的・科学的知識を習得し、臨床で生かせるようにする
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	系統看護学講座　解剖生理学　医学書院	事前事後学習とその内容	授業後毎回、必ず復習し、小テストの間違いも確認する
参考図書	全部わかる人体解剖図		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	解剖生理学を学ぶために	講義	細胞の働きを理解する
2	消化器系	講義	胃、腸など消化管の構造、働きを理解する
3	消化器系	講義	肝臓、膵臓などの構造、働きを理解する
4	循環器系	講義	心臓の構造と働きを理解する
5	循環器系	講義	血圧、血圧に左右する因子などを理解する
6	呼吸器系	講義	呼吸器の構造と働きを理解する
7	呼吸器系	講義	呼吸の仕組み、血液の働きを理解する
8	復習試験	講義	前半の授業の理解度を確認する
9	泌尿器系	講義	腎臓や泌尿器の構造、働きを理解する
10	内分泌系	講義	内分泌腺、春問の働きを理解する
11	内分泌系	講義	ホルモン名と働きを理解する
12	神経系	講義	神経系の構造、働きを理解する
13	神経家	講義	神経系の構造、働きを理解する
14	免疫系、生殖器系	講義	免疫の仕組み、生殖器の働きを理解する
15	定期試験	講義	後半の理解度を確認する

科目名	臨床関連医学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	脇雅子
		授業形態	講義				
（英）	Clinical Medicine	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	土曜日1・2限

講師紹介	医学博士号を持ち、長年医学部で研究と教育に携わる、滋慶学園ならびに医療圏専門学校で基礎医学全般を教授する
目的	臨床関連医学は病気を理解するための基礎であり、視能訓練士として必要な病気の原因や特徴を理解する
科目概要	疾患を内科学的、病理学的、生理学的に理解する
到達目標	人体の構造と機能、病理学との相互関係を理解し、視能訓練士として必要な医学的・科学的知識を習得する。また、将来的に臨床現場で生かせるようにする
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	系統看護学講座　病態生理学　医学書院	事前事後学習とその内容	毎回必ず復習をし、小テストの誤りの確認もする
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	疾患を学ぶための基礎知識	講義	疾患の原因、正常と異なる点を理解する
2	循環器の仕組みと病態生理	講義	心臓の構造・っ機能、機能障害、血圧などを理解する
3	循環器の仕組みと病態生理	講義	心臓の構造・っ機能、機能障害、血圧などを理解する
4	循環器の仕組みと病態生理	講義	心臓の構造・っ機能、機能障害、血圧などを理解する
5	呼吸器の仕組みと病態生理	講義	呼吸器の構造、機能、疾患について理解する
6	呼吸器の仕組みと病態生理	講義	呼吸器の構造、機能、疾患について理解する
7	呼吸器の仕組みと病態生理	講義	呼吸器の構造、機能、疾患について理解する
8	復習試験	講義	前半の理解度を確認する
9	消化、吸収と病態生理	講義	消化器の構造、機能、疾患を理解する
10	消化、吸収と病態生理	講義	消化器の構造、機能、疾患を理解する
11	消化、吸収と病態生理	講義	消化器の構造、機能、疾患を理解する
12	神経、筋肉の仕組みと病態生理	講義	中枢神経、末梢神経の構造、機能、疾患を理解する
13	神経、筋肉の仕組みと病態生理	講義	中枢神経、末梢神経の構造、機能、疾患を理解する
14	泌尿器系の仕組みと病態生理	講義	泌尿器系の構造、機能、疾患を理解する
15	定期試験	講義	後半の理解度を確認する

科目名	病理学（疾病学を含む）	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	渡邉　隆
		授業形態	講義				
（英）	Pathology(diseases)	時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	金曜7時限

講師紹介	薬剤師として調剤薬局や老人施設などの現場で最新の情報を常に得られる環境にて仕事をしています。また薬系の大学や専門学校で講師を務めています。教科書の内容だけでなく最新の情報を授業に生かしていくことを心がけています。
目的	医療に携わる者として人間に起こる疾病の仕組みを理解することで眼の疾病と関連を確認する。
科目概要	病気の仕組みや原因の解説
到達目標	人間に起こる疾病の原因や仕組みを理解する。また眼に起こる疾患との関連性を理解する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	専門基礎　病理学	事前事後学習とその内容	授業後に課題を配信する。
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	講義	この科目の学習方法を理解する。またこの科目の意義を理解する。
2	病理学で学ぶこと	講義	P4～12　病理学とはどういうものか
3	免疫とアレルギー	講義	P34～49　免疫とはどういうものかまた免疫とアレルギーの関係について
4	感染症	講義	P56～70　感染症の種類と治療について
5	循環障害	講義	P72～92　循環器でおこる疾病について
6	代謝障害	講義	P94～102　代謝障害にておこる疾病について
7	老化と死	講義	P104～114　老化と死についての仕組みを理解
8	復習テスト		2～7回目の内容
9	腫瘍　その1	講義	P136～143　腫瘍とはどういうものか
10	腫瘍　その2	講義	P144～166　腫瘍の進行とその治療
11	内分泌系の疾患	講義	P284～294　ホルモン異常により起こる疾病
12	呼吸器系の疾患　その1	講義	P210～219　鼻から肺に起こる疾病
13	呼吸器系の疾患　その2	講義	P219～232　肺に起こる疾病
14	まとめ	講義	総復習
15	期末テスト		2～14回までの内容

科目名	医学概論	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	伊藤　春雄
		授業形態	講義				
（英）	Introduction to Medicine	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	1			曜日/時間	土曜日3限

講師紹介	保有資格：歯科医師。歯学部卒業、医学研究科大学院にて博士(医学)取得。地域で臨床を行いつつ、大学、専門学校にて本科目の教鞭を取り26年。
目的	視能訓練士の国家試験では、この科目としての出題はない。しかし、この科目の内容が出題されることはある。また、医療従事者として知っておくべき事柄が多く含まる。過去の出題を配慮した講義に努める。
科目概要	視能訓練士の全体像を理解するための、視能訓練士の業務内容と取得知識のオリエンテーション。
到達目標	視能訓練士に必要な医学概論に関する知識を習得する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	「コメディカルのための専門基礎分野テキスト医学概論」中外医学	事前事後学習とその内容	事後学習として、授業の最後に実施する小テストを復習し、授業で得た知識の定着を行う。
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	医学について/人体の構造・機能	講義	医学の定義や歴史、医の倫理について知る　/　人体の構成や機能について知る
2	人体の構造・機能/臨床医学概論	講義	人体の構造・機能について知る　/　一般的な臨床でみられる諸症状について知る
3	臨床医学各論①	講義	国際疾病分類(ICD)について知る　/　各疾患について知る(呼吸器疾患～中毒性疾患)
4	臨床医学各論②	講義	各疾患について知る(運動器疾患～鼻咽頭疾患)　/　メタボリックシンドロームについて知る
5	人口統計　/　健康状態と受療状況　/　医療保険制度	講義	人口動態・静態の定義と各指標について知る　/　健康や医療に関する調査について知る　/　社会保険制度と国民医療費について知る
6	医療関係の職種・施設　/　保健医療対策　/　関係法規	講義	医療関係職種や医療施設について知る　/　母子保健・高齢者保健等の保健対策、難病等や臓器移植について知る　/　関連する法律について知る
7	感染症・感染症対策	講義	感染症の種類と予防対策について知る
8	定期試験	講義	

科目名	視覚生理学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	講義		有		
（英）	Optical Physiology	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	1			曜日/時間	水曜日　6限

講師紹介	保有資格：視能訓練士、中学・高等学校教諭第一種免許 略　　歴：2004年より眼科クリニックに視能訓練士として豊富な実務経験を有する。2016年より視能訓練士専任教員。
目的	人体の眼の機能を明らかにして、その機能がどのようなメカニズムで検査結果に現れるかを学びます。 これは視能訓練士が行う頻度の高い検査に大きく関わりを持ちますので、他の科目に非常に関連してきます。
科目概要	視能訓練士として現場に出た際に患者様に対してなぜそれを行う必要があるのかを把握して検査を行うことが出来るようになる。 人間がものを見るためのメカニズムを理解し、検査の選択がスムーズに行えるようになる。
到達目標	光覚・色覚・視野・電気生理学についての基礎知識を習得する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　　□口頭試験　　□実技試験　　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	毎回の授業後に小テストを実施し、理解度の確認を行う
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	視覚生理とは・ 形態覚①	講義	視覚生理学の基礎を学ぶ　視角と視力の関わり、 視力の種類・視力検査法、 小児の視力検査、視力に影響する因子について学ぶ
2	形態覚②	講義	視覚生理学の基礎を学ぶ視角と視力の関わり、 視力の種類・視力検査法、 小児の視力検査、視力に影響する因子について学ぶ
3	視野①	講義	視覚生理学の基礎を学ぶ　光の単位　明るさの単位 視野の概念　視路と視野 異常視野に影響する因子について学ぶ。
4	視野②限界フリッカ値	講義	視路と視野異常 視野に影響する因子について学ぶ。 限界フリッカ値
5	電気生理	講義	電気生理検査の種類と名称網膜電図の目的、対象、検査の種類、検査法 異常所見の種類　について学ぶ。
6	光覚	講義	視細胞の名称と働き、錐体視細胞と杆体視細胞 錐体視色素と杆体視色素 夜盲の特徴と種類、昼盲、暗順応曲線　について学ぶ
7	色覚	講義	色覚　色の性質 色覚異常（先天と後天）　について学ぶ。
8	定期試験		

科目名	視器の解剖生理学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	講義		有		
（英）	Anatomical Physiology of Visual organs	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	金曜日　6時限

講師紹介	保有資格：視能訓練士、中学・高等学校教諭第一種免許 略　　歴：2004年より眼科クリニックに視能訓練士として豊富な実務経験を有する。2016年より視能訓練士専任教員。
目的	日常生活における情報の8割は視覚によってもたらされていると言われている。 視能訓練士を目指す学生にもっとも理解していただきたいのは「見えるという仕組みの精巧さ」である。「見える」ということが決して単一なものではなく、複雑で大変素晴らしい仕組みによって成り立っていることを理解し、医療職者として活躍していただきたいと願っている。
科目概要	眼疾患によって視器能を喪失することは重大なクオリティ・オブ・ライフの低下を招く。眼疾患を患った患者様のニーズに的確に応えるためには正しい知識が必要である。そのために本授業では業務に直結する内容や演習を取り入れていく予定である。
到達目標	正しい眼球の図を描くことが出来、立体的にイメージすることができる。 視器および付属器の名称を覚える。 それぞれの役割、生理機構を理解する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　　□口頭試験　　□実技試験　　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	毎回の授業後に小テストを実施し、理解度の確認を行う
参考図書	現代の眼科学　標準眼科学		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	講義	骨、筋、神経などのおおまかな仕組みがわかる。 眼球を立体的にイメージしながら水平断面図を書くことができる。
2	眼球外膜（角膜・強膜）	講義	眼球外膜（角膜・強膜）のはたらきを説明することができる。
3	眼球中膜（ぶどう膜・虹彩・毛様体・脈絡膜）	講義	眼球中膜（ぶどう膜・虹彩・毛様体・脈絡膜）のはたらきを説明することができる。
4	眼球内膜（網膜①）	講義	眼球内膜（網膜）　網膜を層で捉え、はたらきを説明することができる。
5	眼球内膜（網膜②）	講義	眼球内膜（網膜）　網膜を面としてとらえ、はたらきを説明することができる。
6	眼球内容物	講義	房水・水晶体・硝子体のはたらきを説明することができる。
7	眼球付属器①	講義	眼瞼・結膜・涙器のはたらきを説明することができる。
8	復習試験	講義	
9	眼球付属器②	講義	眼窩・外眼筋のはたらきを説明することができる。
10	眼球血管系	講義	動脈・静脈それぞれの血管の走行状態と役割を説明することができる。
11	視神経・視路	講義	視神経から視中枢までの解剖学的名称を言うことができ、その特徴を説明できる。
12	脳と神経	講義	脳の分類と脳神経が言える。 水平眼球運動が説明できる。
13	眼の自律神経	講義	対光反応の仕組みを説明することができる。
14	視覚器の発生	講義	眼組織の発生起源が言える。
15	定期試験	講義	

科目名	視能検査機器学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	熊木　駿
		授業形態	講義		有		
（英）	Orthoptic Equipment	時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	水曜日　7限

講師紹介	2008年に視能訓練士免許を取得 個人病院や大学病院での豊富な実務経験を有し、日本医歯薬専門学校の非常勤講師となる。
目的	各種検査機器の対象と検査原理が理解できる
科目概要	眼科の検査は大きな機器を使用するものから小さな機器まで様々ですが、正確なデータを得るためには正しく取り扱う必要があります。 似ている数値や知識も多いですがきちんと整理・分類が出来るようにしていきましょう
到達目標	各種検査機器の対象と検査原理が理解できる
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	毎回の授業後に小テストを行い、理解度の確認を行う
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	視力検査について	講義	視力検査の目的・対象を覚え、正しい操作ができるようになる
2	レフケラ・スペキュラー検査について	講義	レフケラ・スペキュラー検査の目的対象を覚え、正しい操作ができるようになる
3	眼圧検査について	講義	眼圧検査の目的・対象を覚え、正しい操作ができるようになる
4	レンズメーターについて	講義	レンズメーターの目的・対象を覚え、正しい操作ができるようになる
5	ハンフリー視野計について	講義	ハンフリー視野計の目的・対象を覚え、正しい操作ができるようになる
6	OCT・眼底カメラについて	講義	OCT・眼底カメラの目的・対象を覚え、正しい操作ができるようになる
7	1～6のまとめ	講義	1～6で学んだ内容を再度確認し、復習試験に備える
8	復習試験	講義	
9	症例検討	講義	主訴から検査を選択し、正しい検査の判読をすることで疾病に予想をつけることができるようになる
10	症例検討	講義	主訴から検査を選択し、正しい検査の判読をすることで疾病に予想をつけることができるようになる
11	症例検討	講義	主訴から検査を選択し、正しい検査の判読をすることで疾病に予想をつけることができるようになる
12	症例検討	講義	主訴から検査を選択し、正しい検査の判読をすることで疾病に予想をつけることができるようになる
13	症例検討	講義	主訴から検査を選択し、正しい検査の判読をすることで疾病に予想をつけることができるようになる
14	症例検討	講義	主訴から検査を選択し、正しい検査の判読をすることで疾病に予想をつけることができるようになる
15	定期試験	講義	

科目名	視覚生理学実習	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	実習		有		
（英）	Practical Training in Optical Physiology	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	1			曜日/時間	土曜日　4.5時限

講師紹介	▸【柘植　貴子】視能訓練士　中学・高等学校教諭第一種免許 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【吉田　千里】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【竹島　敏次】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。大学病院、眼科クリニックで豊富な実務経験を有する。
目的	形態覚、色覚、視野、光覚、電気生理が視覚生理学で学ぶ事です。本実習は色覚検査、視野検査、電気生理検査を行っていきます。 この検査は眼科で頻度の多い検査です。本実習で基礎的な事をしっかり学んでいきましょう
科目概要	特に視野検査について重点を置いています。緑内障、脳疾患、視神経などの診断や治療に大きくかかわる検査です。色覚検査は患者さんの将来の仕事や仕事に関わる検査なので正確な知識が必要です。電気生理検査は正しい知識を持つことで患者さんの負担を少なく検査が実施できます。
到達目標	色覚検査、視野検査、電気生理検査を体験する 検査の手順を理解する
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　■実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	授業内容に応じたレポートを作成し、手技を定着させる。
参考図書	理解を深めよう視野検査		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	オリエンテーション 視力についての講義　裸眼視力測定	実習	これから学内で勉強していく方法や決まり事を共有します。 裸眼視力測定　字ひとつ視力、字づまり視力、0.1以下の視力測定
3・4	裸眼視力 レフラクトメータ　ノンコン　機械操作	実習	裸眼視力測定　字ひとつ視力、字づまり視力、0.1以下の視力測定 検査機器の操作がわかる(レフ、ノンコン)
5・6	視野　GP/HFA レフラクトメータ　ノンコン　機械操作	実習	GP：輝度調整 HFA：患者説明、ゲイズ設定、準備 アムスラーチャート、コントラスト感度
7・8	視野　GP/HFA レフラクトメータ　ノンコン　機械操作	実習	GP：輝度調整 HFA：患者説明、ゲイズ設定、準備 アムスラーチャート、コントラスト感度
9・10	色覚検査	実習	仮性同色表：石原表、標準色覚検査表Ⅰ部Ⅱ部 色相配列検査：パネルD－15 アノマロスコープの検査を理解し実行できる
11・12	視力検査	実習	球面レンズ決定 乱視表、クロスシリンダを使った乱視検出
13・14	視力検査 視野　GP/HFA	実習	球面レンズ決定 乱視表、クロスシリンダを使った乱視検出 視野検査実践
15	定期試験	実習	

科目名	医療と安全	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	今井　由惠
		授業形態	講義				
（英）	Clinical Safety	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	火曜6限

講師紹介	保育士資格・幼稚園教諭2種免許を所持、百貨店勤務、一般企業を経て、医療秘書・医療事務の資格を取得。診療所、保険調剤薬局の保険請求業務を担当。現在も調剤薬局で勤務中
目的	医療は日々進化していきます。それとともに『これだけやればよい』ということはなく、安全で最良な医療を患者様に提供するためにはどうするか、常に更新しなくてはいけません。現場にでてからも逐一情報を更新・対応できるよう自分を磨く。
科目概要	『医療安全』を学ぶ
到達目標	医療を提供する側として、患者様への最良の医療を提供するためにはどうすればよいのか、患者様への対応をどうしたら一番よいのか、グループワークを中心に考察していきます。また、現在講師が勤務する調剤薬局での勤務時の患者様対応の問題点や安全対策の様々な例などを含め、医療を受ける側としても考察していきます。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	5日間で学ぶ医療安全超入門　配布資料　資料教材	事前事後学習とその内容	様々な規定を学ぶ。自分の意見をもち、他の人の意見をしっかり聞くとともに、ブラッシュアップをできるようにする。
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	講義	『医療の安全とは何か』を考える
2	医療の質と医療安全	講義	『医療の質』と『安全とは何か』を理解する
3	医療の安全管理と基礎知識	講義	医療安全の基礎知識、用語を理解する
4	ヒューマンエラーとシステム	講義	ヒューマンエラー、システムの関係を理解する。
5	医療安全と院内組織	講義	医療安全と院内組織。多職種連携での医療安全。患者参加と医療安全。患者・家族＝チーム医療の一員であることを理解する。
6	内部情報収集とその活用	講義	インシデントレポートと報告システムを知る
7	外部情報収集とその活用	講義	第三者機関と安全情報（院外報告）。有害事象に関する患者・家族への説明等、
8	復習テスト	講義	
9	事例の分析方法を知る	講義	事例の分析手法、様々な分析方法を知る。
10	事例考察①	講義	事例分析を行う①
11	事例考察②	講義	事例分析を行う②
12	事例考察③	講義	事例分析を行う③
13	医療安全のためのチーム医療	講義	医療安全と院内組織。多職種連携での医療安全。患者参加と医療安全。患者・家族＝チーム医療の一員であることを理解する。
14	身近な安全対策を体験する	講義	日々の安全対策を体験する。
15	定期試験	講義	

科目名	公衆衛生と関係法規	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	軽部 裕代
		授業形態	講義				
（英）	public health and related laws	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科夜間部	単位	2			曜日/時間	火曜日/6限・講義

講師紹介	保有資格：歯科医師 略　　歴：大学（歯学部）で公衆衛生並びに社会歯科を学び、医事法制や、関係諸制度の研究と教育に従事する。さらに研究を発展させるため医学部大学院に進学し、博士号を取得。現在は、医療系大学や専門学校等で、多数授業を行なっている。″□
目的	「公衆衛生」は、人々の「健康」を考える学問である。視能訓練士は、医療従事者として、病気の「治療」だけでなく、人々の「健康」や疾病の「予防」にも貢献する役割を担っている。一方、医療における仕組みや視能訓練士に関係する法律について学ぶことにより、医療従事者としての資格とその責任について認識する。
科目概要	「健康科学」と、視能訓練士法をはじめとした「医療関係法規」と「医療と福祉の仕組み」について学ぶ。
到達目標	視能訓練士は、医療従事者として、診療以外に患者の「健康」を守る役目がある。この科目では、健康に関係する保健医療の知識や社会環境等を理解することにより、人々の健康と疾病の予防について理解する。また、医療に関係する法律や医療制度等を学ぶことにより、視能訓練士としての役割を認識する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	特に指定しない。毎回オリジナル講義資料を配布する	事前事後学習とその内容	事前学習：講義資料を読み、講義内容の概要を把握する。 事後学習：練習問題集を活用することにより授業内容を再確認する。
参考図書	特になし		
特記事項	練習問題集は、過去、医療系の国家試験でで出題された問題をまとめたオリジナル問題集であるので、外部への配布を禁止する。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	医療における法律①	講義	医療関係職種と「医療法」について学ぶ
2	医療における法律②	講義	「視能訓練士法」について学ぶ
3	医療における法律③	講義	「健康増進法」と「医薬品医療機器等法」について学ぶ
4	医療における法律④	講義	医療における「その他の法律」とわが国における「社会保障制度」について学ぶ
5	わが国における社会保険制度①	講義	わが国の「社会保険制度」について学ぶ
6	わが国における社会保険制度②	講義	わが国の「医療保険制度」について学ぶ
7	わが国における社会福祉	講義	わが国の「福祉政策」について学ぶ
8	復習テスト＆公衆衛生概論	講義	復習テスト（30分）「公衆衛生」とは何かを学ぶ
9	環境保健	講義	「環境保健」について学ぶ
10	地域保健	講義	「地域保健」について学ぶ
11	母子保健・学校保健・成人保健	講義	「母子保健」と「学校保健」と「成人保健」について学ぶ
12	産業保健・高齢者保健・精神保健	講義	「産業保健」と「高齢者保健」と「精神保健」について学ぶ
13	食品保健・感染症・災害保健	講義	「食品保健」と「感染症」と「災害保健」について学ぶ
14	国際保健・国家統計	講義	「国際保健」と「国家統計」について学ぶ
15	定期試験	講義	筆記試験(国家試験に準じた択一形式)

科目名	視覚障害者リハビリテーション	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	稲垣　直子
		授業形態	講義		有		
（英）	Visual Rehabilitation	時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	土曜日1・2時限

講師紹介	保有資格：視覚障害生活訓練等指導員（歩行訓練士）、社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、公認心理師 略歴：大学卒業後、国立身体障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害生活訓練専門職員養成課程（当時）にて視覚障害者リハビリテーションを学ぶ。在宅中途視覚障害者の自立支援に20年間携わり、その間大学病院の眼科と連携しロービジョン外来での相談も行い、豊富な実務経験を有する。現在は障害者支援施設のサービス管理責任者として盲重複障害者の生活支援を行っている。
目的	視能訓練士として医療面だけでなく心理的な支援や生活を豊かにする支援など包括的に関わることが出来るようになることを目的に視覚障害について福祉的な観点から学びを深める。
科目概要	視覚障害者の現状を理解し、正しい理解と対等な人間観を身につける。視覚障害リハビリテーションの現状を理解し、期待される視能訓練士の役割を理解する。
到達目標	ロービジョンケアにおける専門職として、視覚障害についての正しい知識と福祉的な視点を学ぶことにより、幅広い情報提供が出来るようになる。医療と福祉の橋渡し役として、視覚障害があっても希望を持って生きていくことが出来ることを伝えられる専門職になる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　　□口頭試験　　□実技試験　　□その他（　　）

教科書	ロービジョンの総合的リハビリテーション　理論と実践	事前事後学習とその内容	事後学習として、授業の最後に実施する小テスト、レポート等で復習し、授業で得た知識の定着を行う。
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	視覚障害者リハビリテーション・ロービジョン訓練の概要	講義	・視覚障害者リハビリテーションの概要を理解する。 ・視覚障害者が自立生活と社会参加を果たす上での努力や課題を理解する。 ・ロービジョンの見え方、見えにくさを理解する。
2	ケアマネジメントと福祉制度	講義	・障害者ケアマネジメントについて理解する。 ・視覚障害者ケアマネジメントの実際について理解する。 ・福祉制度、障害者差別解消法の概要を理解する。
3	視覚障害者の心理	講義	・視覚障害者の心理を理解する。 ・先天性視覚障害者、中途視覚障害者、それぞれの心理的特性と受容の過程を理解する。
4	視覚障害者の就労の現状と求められるスキル	講義	・視覚障害者の就労の現状を理解する。 ・IT機器の活用について理解する。
5	視覚障害者の歩行	講義	・歩行時に必要な光学的補助具（遮光眼鏡、単眼鏡）の活用について理解する。 ・視覚障害者の歩行について理解する。
6	視覚障害者の誘導方法	講義	・視覚障害者の誘導方法を理解する。
7	日常生活のニーズと支援	講義	・日常生活での工夫と補助具について理解する。 ・生活訓練について理解する。
8	復習試験/点字の理解	講義	・復習試験 ・点字について理解する
9	塩田先生	講義	
10	塩田先生	講義	
11	業界を知る	講義	・遮光眼鏡について理解する。
12	業界を知る	講義	・遮光眼鏡について理解する。
13	業界を知る	講義	・ルーペについて理解する。
14	業界を知る	講義	・拡大読書器について理解する。
15	定期試験	講義	

科目名 （英）	視能矯正学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	吉田　千里
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	月曜日　6.7時限

講師紹介	保有資格：視能訓練士、中学・高等学校教諭第一種免許 略　　歴：眼科勤務を経て視能訓練士国家資格を取得、個人眼科にて豊富な実務経験を積み、日本医歯薬専門学校視能訓練士学科専任教員となる。
目的	視能訓練士国家試験出題比率6割といわれる視能矯正学の知識を習得する。
科目概要	全ての科目の土台となるため、確実に理解を深め、,視能訓練学へ繋げられるよう、指導していく。
到達目標	臨床で使える知識を習得するとともに、視能訓練士国家試験合格に向け、確実に点数を得られるよう習得する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　　□口頭試験　　□実技試験　　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	必ず授業の振り返りを行い、習得し、次回に繋げる。
参考図書	視能矯正学改訂第3版		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	両眼視機能	講義	両眼視機能と網膜対応について理解できる
2	両眼視機能検査	講義	網膜対応検査について理解できる
3	両眼視機能検査	講義	網膜対応検査について理解できる
4	両眼視機能検査	講義	網膜対応検査について理解できる
5	眼球運動	講義	外眼筋の作用と眼球運動について理解できる
6	眼球運動検査	講義	眼球運動検査について理解できる
7	眼球運動検査	講義	Hess赤緑試験について理解できる
8	復習試験	講義	
9	眼球運動検査	講義	複像検査について理解できる
10	両眼視機能検査・眼球運動検査	講義	網膜対応検査・眼球運動検査について理解できる(立体視検査含む)
11	両眼視機能検査・眼球運動検査	講義	網膜対応検査・眼球運動検査について理解できる
12	両眼視機能検査・眼球運動検査	講義	網膜対応検査・眼球運動検査について理解できる
13	両眼視機能検査・眼球運動検査	講義	網膜対応検査・眼球運動検査について理解できる
14	両眼視機能検査・眼球運動検査	講義	網膜対応検査・眼球運動検査について理解できる
15	定期試験	講義	

科目名	基礎視能矯正学 （1回目～15回目）	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	藤原　海渡
		授業形態	講義		有		
（英）	Basic Orthoptics	時間数	60	授業回数	30	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	4			曜日/時間	火曜日　7限

講師紹介	2012年北里大学医療衛生学部卒業し視能訓練士国家資格取得。同年杏林大学アイセンターへ入局し日本弱視小児学会、日本緑内障学会にて発表など、豊富な実務経験を有する。 2017年9月に日本医歯薬専門学校へ入職し専任教員を務める。2019年4月からインフィニティメディカル八王子友愛眼科へ入職し検査部主任を務める。
目的	視能矯正学や視能矯正学実習、視能訓練学に必要な基礎知識を身につける。
科目概要	臨床での視能矯正分野は小児から大人までの幅広い年代が対象となる。特に小児眼科分野での検査では視能矯正学の知識が必要となるため、小児の特性と関連付けながら学ぶことが重要となる。
到達目標	視能矯正学や視能矯正学実習、視能訓練学に必要な基礎知識を身につける。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学　第3版 / 視能矯正学　改訂第3版	事前事後学習とその内容	各授業の内容は次回以降に必要な知識となるため、各個人で必ず授業の振り返りを行う
参考図書	視能矯正マニュアル(改訂版)		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	視能矯正学とは何か （導入 ）	講義	視能矯正額ではどの様なことを学ぶのかを明確にする。 “斜視とは何か”“弱視とは何”かを学ぶ
2	弱視の分類	講義	弱視の定義・原因・病態・分類を学ぶ
3	弱視の分類復習と固視の分類	講義	固視とは何か、そして弱視との関係性について学ぶ
4	両眼視①	講義	両眼視機能の基礎を理解する
5	両眼視②	講義	網膜対応の分類や見え方を学ぶ
6	網膜対応の復習と弱視の治療	講義	網膜対応の確認をする
7	弱視の治療	講義	弱視の治療方針や様々な治療方法を理解する
8	眼位	講義	眼位の定義・種類・状態を学ぶ 斜視・斜位の種類を学ぶ
9	外眼筋の作用と眼球運動①	講義	外眼筋の単独作用を理解する単眼運動とその法則、共同筋と拮抗筋について理解する
10	外眼筋の作用と眼球運動②	講義	外眼筋の単独作用を理解する単眼運動とその法則、共同筋と拮抗筋について理解する
11	斜視の基礎的知識	講義	斜視の定義・病因論・分類・診断について学ぶ
12	外眼筋の作用と眼球運動③	講義	眼球運動の神経支配やその他の特徴を理解する
13	外眼筋の作用と眼球運動③	講義	外眼筋について説明する
14	復習	講義	復習
15	中間テスト	講義	

科目名	基礎視能矯正学 （16回目～30回目）	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	藤原　海渡
		授業形態	講義				
（英）	Basic Orthoptics	時間数	60	授業回数	30	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	4			曜日/時間	火曜日　6.7限

講師紹介	2012年北里大学医療衛生学部卒業し視能訓練士国家資格取得。同年杏林大学アイセンターへ入局し日本弱視小児学会、日本緑内障学会にて発表など、豊富な実務経験を有する。 2017年9月に日本医歯薬専門学校へ入職し専任教員を務める。2019年4月からインフィニティメディカル八王子友愛眼科へ入職し検査部主任を務める。
目的	視能矯正学や視能矯正学実習、視能訓練学に必要な基礎知識を身につける。
科目概要	臨床での視能矯正分野は小児から大人までの幅広い年代が対象となる。特に小児眼科分野での検査では視能矯正学の知識が必要となるため、小児の特性と関連付けながら学ぶことが重要となる。
到達目標	視能矯正学や視能矯正学実習、視能訓練学に必要な基礎知識を身につける。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学　第3版 / 視能矯正学　改訂第3版	事前事後学習とその内容	各授業の内容は次回以降に必要な知識となるため、各個人で必ず授業の振り返りを行う
参考図書	視能矯正マニュアル(改訂版)		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
16	輻湊・開散と屈折、調節、AC/A比① 斜視の検査①	講義	輻湊・開散や調節との関りについて理解する 斜視の検査方法を学ぶ
17	斜視の各型	講義	内斜視の分類と特徴を理解する
18	斜視の各型②	講義	外斜視の分類と特徴を理解する
19	輻湊・開散と屈折、調節、AC/A比 ②	講義	輻湊・開散や調節との関りについて理解する
20	斜視の各型③	講義	斜視の分類と特徴を理解する
21	斜視の各型④	講義	斜視の分類と特徴を理解する
22	斜視の各型⑤	講義	斜視の分類と特徴を理解する
23	斜視の検査②	講義	斜視の検査方法を学ぶ
24	斜視の検査③	講義	斜視の検査方法を学ぶ
25	斜視の検査④	講義	斜視の検査方法を学ぶ
26	斜視の検査⑤	講義	斜視の検査方法を学ぶ
27	眼振、外眼筋手術	講義	眼振の分類と外眼筋手術の術式と適応を理解する
28	眼振、外眼筋手術	講義	眼振の分類と外眼筋手術の術式と適応を理解する
29	復習	講義	復習
30	定期試験	講義	

科目名	生理光学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	今井　哲也
		授業形態	講義		有		
（英）		時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	水曜日6限

講師紹介	保有資格：視能訓練士（2009） 大学を卒業後に病院にて豊富な実務経験を経て専任講師として専門学校の教務を行い現在に至る
目的	各条件に適した計算方法を用いて計算を行うことができる。
科目概要	屈折異常・レンズ光学・プリズム効果・屈折矯正・調節力・明視域を考える際に必要な計算方法を学ぶ。
到達目標	視能訓練士業務に必要な計算知識を身に着け、正確な検査を行うために患者さんの状態を正しくイメージし適切な対応が行えるようになる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	屈折異常とその矯正・視能学・生理光学ドリル（課題）	事前事後学習とその内容	授業内容に対応した説明はダブルチェックシステムの動画などを活用して確認すること。 「生理光学ドリル」を練習問題として使用すること。
参考図書			
特記事項	使用する計算は「＋、－、×、÷」 これらを整数、小数、分数で行っていきます。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	眼の屈折系	講義	眼球において生理光学が関係する「中間透光体」を模型を使いイメージし、それぞれの役割を理解する。 キーワード：「中間透光体」・「レンズ系」・「眼軸長」
2	レンズの種類・書き方	講義	屈折矯正で用いる矯正レンズの種類を学び、記載方法のルールを知る。 キーワード：「＋レンズ」・「－レンズ」・「球面レンズ」・「円柱レンズ」・「レンズ式」
3	レンズの度数	講義	各種レンズがどのように変化するかその計算方法を知る キーワード：「逆数」・「焦点距離」
4	屈折異常：近視	講義	日本人に多いと言われている屈折異常の近視に関して原因や見え方を学ぶ キーワード：「焦点位置」・「軸性」・「屈折性」
5	屈折異常：遠視	講義	遠視に関して原因や見え方を学ぶ。 キーワード：「焦点位置」・「軸性」・「屈折性」・「調節力」
6	屈折異常：乱視	講義	乱視の種類・矯正方法を学ぶ。 キーワード：「直乱視」・「倒乱視」・「斜乱視」
7	スタームのコノイド・パワークロス	講義	眼の屈折異常を図に表すためのスタームのコノイドとパワークロスを学ぶ キーワード：「前焦線」・「後焦線」・「最小錯乱円」
8	前半の復習	講義	前半内容の国家試験に挑戦する。 中間テストを実施
9	調節力	講義	調節力の計算を学ぶ キーワード：「遠点」・「近点」・「調節力」
10	明視域	講義	明視域の計算方法を学び、状況による明視域の変化を考える。 キーワード：「レンズ装用下」・「明視域」
11	遠近両用眼鏡による明視域	講義	二重焦点眼鏡の種類と構造を理解し、タイプによる明視域の変化を学ぶ。 キーワード：「二重焦点眼鏡」・「累進屈折眼鏡」
12	プリズム	講義	プリズムの概念を学び、眼鏡によるプリズム効果を計算できる。 キーワード：「⊿」・「プレンティスの公式」
13	収差	講義	レンズによって生じる収差を学ぶ。 キーワード：「Saidelの5収差」・「色収差」
14	レンズを通過した物体	講義	レンズを通して物体を見たときに見える像の大きさを計算する。 キーワード：「倒立実像」・「成立虚像」・「拡大」・「縮小」
15	定期試験		1～14回目全内容

科目名	視能矯正学実習	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	実習		有		
（英）	Practical Training in Orthoptics	時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	1			曜日/時間	土曜日　4.5限

講師紹介	▸【柘植　貴子】視能訓練士　中学・高等学校教諭第一種免許 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【吉田　千里】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【竹島　敏次】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。大学病院、眼科クリニックで豊富な実務経験を有する。
目的	常に患者の状況をイメージしながら検査を行えるよう、基本的な知識、技術を身につける。
科目概要	主に視能訓練士が活躍する斜視や弱視の知識、技術の向上を目指す
到達目標	検査中の患者の状況のイメージができ、それに対して適切な手順での検査ができる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　■実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	授業内容に応じたレポートを作成し、手技を定着させる。
参考図書	眼科検査ガイド		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	両眼性眼位検査(定性)	実習	眼位の定性検査、定量検査、固視検査が理解できる
3・4	両眼性眼位検査(定量) 眼球運動検査	実習	眼位の定性検査、定量検査、固視検査が理解できる 頭部傾斜試験、9方向眼位検査
5・6	Maddox正切尺 Hess赤緑試験	実習	Maddoxを用いた検査ができる Hess赤緑試験を理解し、検査ができる
7・8	Maddox正切尺 Hess赤緑試験	実習	Maddoxを用いた検査ができる Hess赤緑試験を理解し、検査ができる
9・10	立体視検査 融像幅検査	実習	立体視検査を理解する 融像幅の検査を理解する
11・12	立体視検査 融像幅検査	実習	立体視検査を理解する 融像幅の検査を理解する
13・14	両眼性眼位検査(定量) 眼球運動検査	実習	眼位の定性検査、定量検査、固視検査が理解できる 頭部傾斜試験、9方向眼位検査
15	定期試験	実習	両眼性眼位検査(定量)

科目名	眼科薬理学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	渡邉　隆
		授業形態	講義				
（英）	Ophthalmic pharmacology	時間数	15	授業回数	8	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	1			曜日/時間	金曜日　6時限

講師紹介	薬剤師として調剤薬局や老人施設などの現場で最新の情報を常に得られる環境にて仕事をしています。また薬系の大学や専門学校で講師を務めています。実際の点眼薬の実物を使ってより一層リアルに感じることができるかと思います。また教科書の内容だけでなく最新の情報を授業に生かしていくことを心がけています.
目的	国家試験では3～4問しか出題されない科目ですが、現場で使える知識を身に着ける。
科目概要	眼科の現場で使用される点眼薬の役割とその意義、また副作用について理解する。
到達目標	現場で使える知識を身につける。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	点眼薬　クリニカルブック	事前事後学習とその内容	授業後に課題を配信する。
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	点眼薬の基礎　その1	講義	点眼薬はどういうものでどのように作られているか、また点眼容器はどのように作られそれがどういう意味なのかを説明できる。
2	点眼薬の基礎　その2	講義	点眼薬の正しい使い方、保管方法、使用期限等を説明できる。
3	緑内障治療薬　その1	講義	緑内障の発生原因や病態を説明できる。
4	緑内障治療薬　その2	講義	主な緑内障治療法の薬品名と作用機序が説明できる。
5	白内障治療薬、散瞳薬	講義	主な白内障治療薬、散瞳薬の薬品名と作用機序が説明できる。
6	炎症治療薬	講義	主な炎症治療薬の薬品名と作用機序が説明できる。
7	国家試験に向けて	講義	いままで学習してきた内容と国家試験に出題される関係について
8	期末テスト		

科目名	視能検査学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	熊木　駿
		授業形態	講義		有		
（英）	Orthoptic Examinations	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	水曜日　7時限

講師紹介	2008年に視能訓練士免許を取得 個人病院や大学病院での豊富な実務経験を有し、日本医歯薬専門学校の非常勤講師となる。
目的	眼科診療における検査の種類・目的を理解する
科目概要	この授業で学ぶ機器には視能訓練士が頻繁に使用するものも使用しないものもあります。しかし使用されないかといって国家試験に出題されないわけではありません。 どの単元にも学ぶ意味は必ずありますので聞き漏らさないよう授業に望んでください。
到達目標	眼科における様々な検査を正しく行うための知識と技術を習得する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	毎回の授業後に小テストを実施し、理解度の確認を行う
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	視能検査学の目的を知る 外眼部検査について	講義	外眼部検査の目的・対象・検査方法を理解する
2	細隙灯顕微鏡について	講義	細隙灯顕微鏡の目的・対象・検査方法を理解する
3	角膜検査について	講義	角膜検査の目的・対象・方法を理解する
4	涙液検査について	講義	涙液検査の目的・対象・方法を理解する
5	眼圧検査について	講義	眼圧検査の目的・対象・方法を理解する
6	隅角検査について	講義	隅角検査の目的・対象・方法を理解する
7	眼底検査について	講義	眼底検査の目的・対象・方法を理解する
8	復習試験		
9	眼底画像検査について	講義	眼底画像検査の目的・対象・方法を理解する
10	超音波検査・眼軸長検査について	講義	超音波検査・眼軸長検査の目的・対象・方法を理解する
11	眼科画像診断について	講義	眼科画像診断の目的・対象・方法を理解する
12	1～11のまとめ	講義	国家試験問題が解けるようになる
13	1～11のまとめ	講義	国家試験問題が解けるようになる
14	1～11のまとめ	講義	国家試験問題が解けるようになる
15	定期試験		

科目名	視能検査学実習	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	実習		有		
（英）	Practical Training in Orthoptic Examination	時間数	60	授業回数	30	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	土曜日6.7限

講師紹介	▸【柘植　貴子】視能訓練士、小学校教諭 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【吉田　千里】視の訓練士 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【竹島　敏次】視能訓練士 視の訓練士国家資格を取得。大学病院、眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【金上　千佳】視能訓練士、医学写真技師 大学病院にて眼科写真技師として活躍後、視能訓練士国家資格を取得。大学病院、総合病院、眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。
目的	個々が責任を持って、患者さんへ実際に検査を行うという事を意識する。 みんなで切磋琢磨して臨地実習へ備えていきましょう。
科目概要	眼科外来で行う眼科一般検査を実習します。 視力、眼圧、屈折、角膜曲率半径、角膜内皮細胞検査、眼鏡検査、ハンディーレフ、レンズメーター、GP、HFA、CFF、超音波Aモード、VEP、眼底写真、OCT、眼位検査、両眼視機能検査、大型弱視鏡、Hess注視野などです。
到達目標	検査学に関する検査について知識をつけ、練習をして、自分自身で工夫をするという慣習を学ぶ
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　■実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	授業内容に応じてレポートを作成。手技を定着させる。
参考図書	眼科検査ガイド		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	眼底写真・OCT	実習	講義 班に分かれて検査の手法や工夫など行う
2.3	眼底写真・OCT	実習	班に分かれて検査の手法や工夫など行う
4.5	眼底写真・OCT	実習	班に分かれて検査の手法や工夫など行う
6.7	眼底写真・OCT	実習	班に分かれて検査の手法や工夫など行う
8	視力検査、視野検査	実習	班に分かれて検査の手法や工夫など行う
9.10	これまでの復習	演習	国家試験準備
11.12.13	両眼性眼位検査(定性)	実習	眼位の定性検査が理解できる
14.15	両眼性眼位検査(定量) 眼球運動検査	実習	眼位の定性検査、定量検査、固視検査が理解できる 頭部傾斜試験、9方向眼位検査
16.17	注視野	実習	単眼注視野　両眼注視野
18.19	大型弱視鏡	実習	班に分かれて検査の手法や工夫など行う
20・21	眼位検査復習	実習	眼位の定性検査、定量検査、固視検査が理解できる 頭部傾斜試験、9方向眼位検査
22・23	Maddox正切尺 Hess赤緑試験	実習	Maddoxを用いた検査ができる Hess赤緑試験を理解し、検査ができる
24・25	Maddox正切尺 Hess赤緑試験	実習	Maddoxを用いた検査ができる Hess赤緑試験を理解し、検査ができる
26・27	眼位・ハンディーレフ・眼位・眼底写真・OCT・GP・HFA・視力・眼鏡・スペキュラ	実習	班に分かれて検査の手法や工夫など行う
28・29	外部実技試験	実習	臨地実習に行くための検査、手技の確認
30	定期試験	講義	臨地実習に行くための検査、手技の確認

科目名	視能訓練士総合講座	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	吉田　千里
		授業形態	講義		有		
（英）	Comprehensive Course	時間数	90	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	6			曜日/時間	金曜・土曜

講師紹介	▸【吉田　千里】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【柘植　貴子】視能訓練士、中学・高等学校教諭第一種免許 視能訓練士国家資格を取得。個人眼科にて豊富な実務経験を有する。 ▸【今井　哲也】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。総合病院、眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。
目的	各検査の原点と要点を習得し、基礎知識を定着させる。 各科目の知識を総合し理解する。
科目概要	現場で即戦力となる視能訓練士になるためには、十分な知識と手技が必要になります。 総合的に考え検査のできる視能訓練士になるために、常に思考を整理していく必要があります。
到達目標	総合的に考え検査のできる視能訓練士になる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版　他	事前事後学習とその内容	毎回の授業後に小テストを行い、理解度の確認を行う。
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1.2	国家試験導入	講義	国家試験について
3.4	生理光学	講義	屈折、調節
5.6	生理光学	講義	屈折、調節
7.8	生理光学	講義	屈折・調節に関する計算式(プリズム、バーゼンス)
9.10	生理光学	講義	屈折・調節に関する計算式(プリズム、バーゼンス)
11.12	視器の解剖生理学	講義	視器の解剖生理学復習
13.14	視器の解剖生理学	講義	視器の解剖生理学復習
15.16	視能矯正学	講義	両眼視機能と眼球運動復習
17.18	視能矯正学	講義	両眼視機能と眼球運動復習
19.20	視能矯正学	講義	輻湊・開散と屈折、調節、AC/A比復習
21～25	模擬試験①		第1回滋慶統一模試
26～30	模擬試験②		第2回滋慶統一模試
31～35	模擬試験③		第3回滋慶統一模試
36～40	模擬試験④		全国統一模試
41～45	卒業試験		卒業判定試験

科目名	神経眼科学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	高橋 理
		授業形態	講義				
（英）	neuroophthalmology	時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	土曜日　1,2時限

講師紹介	保有資格：　歯科医師，歯学博士 略　　歴：　神経解剖学を専門研究分野として学位論文テーマは三叉神経系，「マーティン神経解剖学，西村書店」の「前庭系と動眼系」章を2007，2015年に翻訳，雑誌「神経眼科」24(2)pp142-147(2007)に総説を依頼執筆，日本解剖学会と日本神経科学学会にて学会活動を今日まで継続した．
目的	視能訓練士という専門職として患者の要求に適確に対応する神経眼科学の知識，技能，態度を修得し，他の医療スタッフと円滑なコミュニケーションが可能な範囲にまで医学的な背景を学ぶ．さらに全身疾患を背景とする眼疾患についても理解を深める．
科目概要	眼科領域に必要な神経学および神経眼科学について体系的に学習する．
到達目標	1.　神経眼科疾患に関連する解剖学，生理学，病理学など基礎科目との関連の理解 2.　神経眼科疾患の眼症状，全身所見，原因疾患，および治療法の概略を修得
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　　□口頭試験　　□実技試験　　□その他（　　）

教科書	神経眼科診療のてびき	事前事後学習とその内容	事後学習として、授業の最後に実施する小テストを復習し、授業で得た知識の定着を行う。
参考図書			
特記事項	講義および提示資料について解剖体の一部を用いるので，写真撮影及び録音録画を許可しない。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	神経眼科の特徴	講義	1. 脳神経の概観 2. 先天性眼球運動障害
2	脳神経	講義	1. 眼球運動に関与する脳神経 2. 三叉神経，顔面神経，交感神経，副交感神
3	核，核下性眼球運動障害①	講義	1. 動眼神経　2. 滑車神経 3. 外転神経
4	核，核下性眼球運動障害②	講義	1. 動眼神経　2. 滑車神経 3. 外転神経
5	核，核下性眼球運動障害③	講義	1. 動眼神経　2. 滑車神経 3. 外転神経　4. その他，関連症候群
6	核，核上性眼球運動障害①	講義	1. 水平眼球運動障害　2. 垂直眼球運動障害 3. その他
7	核，核上性眼球運動障害②	講義	1. 水平眼球運動障害　2. 垂直眼球運動障害 3. その他
8	復習試験	講義	神経眼科学1～7の総復習，および知識の定着
9	眼　振	講義	1. 病的眼振　　2. 視運動性眼振 3. 異常眼球眼振
10	瞳孔異常①	講義	1. 散瞳と縮瞳　　2. 瞳孔不同 3. 鑑別検査
11	瞳孔異常②	講義	1. 視神経乳頭　　2. 視神経萎縮 3. 視神経疾患
12	視神経障害①	講義	1. 視神経乳頭 2. 視神経萎縮　　3. 視神経疾患
13	視神経傷害②	講義	1. 視神経乳頭 2. 視神経萎縮　　3. 視神経疾患
14	視路障害	講義	1. 視交叉，視索，外側膝状体 2. 側頭葉，頭頂葉，後頭葉　　3. 高次脳機能
15	定期試験	講義	神経眼科学1～14の総復習および知識の定着□

科目名	眼疾病学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	金上千佳
		授業形態	講義				
（英）	Ophthalmology	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	前期　月曜日　6時限

講師紹介	視能訓練士、医学写真技師　大学病院で1年間眼科写真技師のもと研修をし、その後他大学病院にて臨床現場で眼底写真、蛍光眼底造影撮影、前眼部写真撮影に従事。約4年間の勤務の後フリーに転向。現在約10か所の病院と契約し、蛍光眼底造影をはじめ眼底写真撮影、前眼部撮影、光干渉断層計の検査を担当しつつ現場の視能訓練士に対し技術指導も行い豊富な実務経験を有する。また、複数の専門学校で視能訓練士科の学生に対して眼疾病及び眼科写真術の講義を担当するなど豊富な現場経験を有している。
目的	眼球及び眼底の解剖をきちんと理解し、正常眼底をしっかりと覚え、それを踏まえて様々な疾病の特徴を掴み画像を見ただけで疾患名が分かるように、また様々な眼底検査の基礎知識を身に着け、結果が理解できるようになる。
科目概要	様々な眼疾病の知識を身に着け、適切な検査を施行できるようになる為の講義
到達目標	疾病がわからないとどの検査を施行すればよいのか、また結果はどうなるのか理解できない。正確な検査ができる視能訓練士が現場では必要とされている。一流の視能訓練士は疾病をしっかりと理解し適切な検査及び正確な検査結果を得ることができる。また近年の国家試験にて疾病が多く出題されているが、画像が読めれば難しい問題ではなくなる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	現代の眼科学、眼科検査ガイド、眼科診療ガイド、レジュメ	事前事後学習とその内容	眼球及び眼底の解剖をしっかりと理解し、数多くの眼底写真を見ること。
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	眼/眼底の解剖を知る	講義	全ての基礎となる眼及び眼底の構造をしっかり覚え、其々の役割を理解する。
2	眼底検査	講義	様々な眼底検査の違いを理解する
3	蛍光眼底造影	講義	蛍光眼底造影とは？仕組み及び注意点を理解する
4	蛍光眼底造影②、OCT	講義	蛍光眼底造影の読影法及びOCTの仕組み/見方を覚える
5	フォトスリットランプ/眼底所見	講義	細隙灯顕微鏡の照明法を学ぶ。眼底出血や白斑の違いを理解する
6	生活習慣による疾患①	講義	糖尿病網膜症について理解する
7	生活習慣による疾患②	講義	高血圧による眼底疾患について学ぶ
8	復習試験/その他の網膜疾患	講義	網膜剥離/血液疾患の特徴を掴む
9	黄斑疾患	講義	黄斑部病変の特徴/必要な検査及びその結果を理解する
10	ぶどう膜炎	講義	ぶどう膜炎の基礎を理解し3大ぶどう膜炎について学ぶ
11	緑内障①	講義	中途失明原因第1位の緑内障とは？検査及びその結果を理解する
12	緑内障②	講義	様々な緑内障の違いを理解する
13	網膜色素変性症など先天・遺伝疾患	講義	網膜色素変性症の特徴、必要な検査及びその結果を理解する。また先天・遺伝疾患を学ぶ
14	視神経疾患/腫瘍	講義	眼底に所見が現れる視神経疾患及び眼腫瘍の特徴を掴む
15	定期試験	講義	

科目名	生理光学実習	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	吉田　千里
		授業形態	実習		有		
（英）	Practical Training in Physiologics Optics	時間数	60	授業回数	30	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	木曜日　6.7時限

講師紹介	▸【柘植　貴子】視能訓練士　中学・高等学校教諭第一種免許 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【吉田　千里】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【竹島　敏次】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。大学病院、眼科クリニックで豊富な実務経験を有する。
目的	常に患者の状況をイメージしながら検査を行うこと。 実技は繰り返し行うことで身につくので、時間が許す限り知識、技術の反芻を行ってください。
科目概要	医療の現場で最もポピュラーな検査をメインで扱います。 正確な検査を行う為の土台となる授業です。
到達目標	検査中の患者の状況のイメージができ、それに対して適切な手順での検査ができる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　■実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	授業内容に応じたレポートを作成し、手技を定着させる。
参考図書	目で見る視力・屈折検査の進めかた		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	視力についての講義 裸眼視力測定 球面レンズ検査	実習	裸眼視力の測定　字ひとつ視力、字づまり視力、0.1以下の視力測定 球面レンズを使って矯正視力を測定する
3・4	レフラクトメータ　ノンコン　スペキュラ 球面レンズ検査	実習	機器の操作ができる(レフ、ノンコン、スペキュラ) 球面レンズを使って矯正視力を測定する
5・6	自覚的屈折検査 瞳孔間距離	実習	視力検査ができる 球面度数決定　シンプルな近視、遠視の屈折矯正ができる 三田式万能計測器で瞳孔間距離の測定ができる
7・8	乱視表を用いた自覚的屈折検査 レンズメーター(マニュアル・オート)	実習	乱視表を用いた屈折矯正ができる
9・10	乱視表を用いた自覚的屈折検査	実習	乱視表を用いた屈折矯正ができる
11.12	クロスシリンダーを用いた自覚的屈折検査	実習	クロスシリンダーを用いた屈折矯正ができる
13.14	クロスシリンダーを用いた自覚的屈折検査	実習	クロスシリンダーを用いた屈折矯正ができる
15.16	復習試験	実習	球面レンズを用いた屈折検査
17.18	視野　GP/HFA レンズメータ	実習	GP：輝度調整 HFA：患者説明、ゲイズ設定、準備 マニュアルレンズメータ　講義
19.20	検影法	実習	検影法の原理を理解し、実行できる
21.22	電気生理検査	実習	ERG/VEPを理解し、実行できる
23.24	外部実技試験の練習	実習	臨地実習のために必要な検査ができる
25.26	外部実技試験の練習	実習	臨地実習のために必要な検査ができる
27.28	外部実技試験の練習	実習	臨地実習のために必要な検査ができる
29	外部実技試験の練習	実習	クロスシリンダー　乱視表　機械検査の復習
30	定期試験	実習	臨地実習のために必要な検査ができる

科目名 （英）	視能訓練学	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	吉田　千里
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	2			曜日/時間	土曜日　3時限

講師紹介	保有資格：視能訓練士、中学・高等学校教諭第一種免許 略　　歴：眼科勤務を経て視能訓練士国家資格を取得、個人眼科にて豊富な実務経験を積み、日本医歯薬専門学校視能訓練士学科専任教員となる。
目的	視能訓練士国家試験出題比率6割といわれる視能矯正分野の視能訓練学を習得する。
科目概要	臨床現場において活かされるべく確実に理解を深められるよう指導していく。
到達目標	臨床で使える知識を習得するとともに、視能訓練士国家試験合格に向け、確実に点数を得られるよう習得する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　　□口頭試験　　□実技試験　　□その他（　　）

教科書	視能学第3版	事前事後学習とその内容	必ず授業の振り返りを行い、習得し、次回に繋げる。
参考図書	視能矯正学改訂第3版		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	斜視総論	講義	斜視の定義、病態について概要を理解する。
2	斜視手術（1）	講義	斜視手術について理解する。
3	斜視手術（2）	講義	斜視手術について理解する。
4	斜視手術（3）	講義	斜視手術について理解する。
5	斜視手術（4）	講義	斜視手術について理解する。
6	斜視手術（5）	講義	斜視手術について理解する。
7	視能訓練（1）	講義	視能訓練について理解する。
8	復習試験	講義	
9	視能訓練（2）	講義	視能訓練について理解する。
10	視能訓練（3）	講義	視能訓練について理解する。
11	視能訓練（4）	講義	視能訓練について理解する。
12	視能訓練（5）	講義	視能訓練について理解する。
13	斜視手術・視能訓練	講義	斜視手術・視能訓練の復習、国家試験問題を解く
14	斜視手術・視能訓練	講義	斜視手術・視能訓練の復習、国家試験問題を解く
15	定期試験	講義	

科目名	視能訓練学Ⅱ	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	講義		有		
（英）	Orthoptics Ⅱ	時間数	90	授業回数	45	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	6			曜日/時間	水～土

講師紹介	″▸【柘植　貴子】視能訓練士　中学・高等学校教諭第一種免許 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【吉田　千里】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【熊木　駿】視能訓練士 視能訓練士国家資格を取得。大学病院、眼科クリニックで豊富な実務経験を有する。 ▸【金上　千佳】視能訓練士、医学写真技師 大学病院にて眼科写真技師として活躍後、視能訓練士国家資格を取得。大学病院、総合病院、眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。
目的	国家試験の6割を占めると言われている視能矯正学、視能訓練学を定着させる。
科目概要	検査の基礎となる理論を定着させる。
到達目標	視能矯正学、視能訓練学を理解できる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版　他	事前事後学習とその内容	毎回の授業後に小テストを行い、理解度の確認をする。
参考図書			
特記事項			

授　業　計　画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1～4	視能障害学(金上)	講義	眼疾病
5～8	視能障害学(金上)	講義	眼疾病
9～10	視能障害学(金上)	講義	眼疾病
11～14	視能検査学(熊木)	講義	視能検査学
15～18	視能検査学(熊木)	講義	視能検査学
19～22	視能検査学(熊木)	講義	視能検査学
23～24	視能訓練学(柘植)	講義	斜視の各型
25～28	視能訓練学(柘植)	講義	斜視の各型
29～30	視能訓練学(柘植)	講義	斜視の各型
31～34	視能訓練学(吉田)	講義	視能訓練、治療
35～38	視能訓練学(吉田)	講義	視能訓練、治療
39.40	視能訓練学(吉田)	講義	視能訓練、治療
41.42	視能矯正分野の総復習	講義	国家試験問題を解く
43.44	視能矯正分野の総復習	講義	国家試験問題を解く
45	定期試験	講義	

科目名	視能訓練学演習	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	演習		有		
（英）	Practical Training in Orthoptics	時間数	45	授業回数	23	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	3			曜日/時間	土曜日　4.5時限

講師紹介	▸【柘植　貴子】視能訓練士、小学校教諭 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【吉田　千里】視の訓練士 視能訓練士国家資格を取得。眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。 ▸【竹島　敏次】視能訓練士 視の訓練士国家資格を取得。大学病院、眼科クリニックにて豊富な実務経験を有する。
目的	国家試験の6割を占めると言われている視能矯正学、視能訓練学を定着させてください。 検査方法を定着させてください。
科目概要	検査の基礎となる理論、手技を定着させてください。
到達目標	視能矯正学、視能訓練学を理解でき、検査ができる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　■実技試験　□その他（　　）

教科書	視能学第3版　視能矯正学	事前事後学習とその内容	授業内容に応じてレポートや小テストを行う。
参考図書	眼科検査ガイド		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
12	コンタクトレンズの基礎	講義	コンタクトレンズについて(ハードコンタクトレンズ、ソフトコンタクトレンズ、乱視用コンタクトレンズ、遠近両用、オルソケラトロジー)
3.4	コンタクトレンズの基礎	実習	コンタクトレンズによる眼障害と汚れの関係 コンタクトレンズのつけ外し
5.6	コンタクトレンズの各種ケア	講義	コンタクトレンズケアの必要性
6.8	各種コンタクトレンズ	実習	乱視用ソフトコンタクトレンズの合わせ方 遠近両用ソフトコンタクトレンズの合わせ方
9.10	眼鏡の基礎	演習	眼鏡の基礎知識 子ども眼鏡について
11	視能矯正、眼疾病	演習	眼位検査、眼球運動検査、両眼視機能検査、眼疾病を中心とした練習問題を行い、理解を深める。
12	視能矯正、眼疾病	演習	眼位検査、眼球運動検査、両眼視機能検査、眼疾病を中心とした練習問題を行い、理解を深める。
13	視能矯正、眼疾病	演習	眼位検査、眼球運動検査、両眼視機能検査、眼疾病を中心とした練習問題を行い、理解を深める。
14	実技	演習	視能矯正分野の検査ができる。
15	実技	演習	視能矯正分野の検査ができる。
16	実技	演習	視能矯正分野の検査ができる。
17	検査に必要な視覚生理学	演習	視覚生理学分野の基礎と検査
18.19	検査に必要な視覚生理学	演習	視覚生理学分野の基礎と検査
20.21	検査に必要な視覚生理学	演習	視覚生理学分野の基礎と検査
22.23	定期試験	演習	

科目名	実習前教育	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	実習		有		
（英）	Preparation for Clinical Practice	時間数	45	授業回数	23	開講区分	前期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	1			曜日/時間	土曜日3限

講師紹介	保有資格：視能訓練士、中学・高等学校教諭第一種免許 略　　歴：2004年より眼科クリニックに視能訓練士として豊富な実務経験を有する。2016年より視能訓練士専任教員。
目的	臨地実習において、十分吸収できる自分自身を構築するよう、授業に臨んでください。 就職活動において、的確な動きができる自分自身を構築するよう、授業に臨んでください。
科目概要	現場で即戦力となる視能訓練士になるためには、充実した臨地実習期間を過ごす必要があります。 臨地実習に臨むにあたり、十分な準備をしてください。
到達目標	臨地実習を前に有意義な実習が行えるよう、その目的・目標を明確にする。 臨地実習で検査を円滑に行うための理論・手技を獲得する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　　□口頭試験　　□実技試験　　□その他（　　）

教科書	視能学第3版　視能矯正学	事前事後学習とその内容	授業にて練習問題や課題を出題、次回授業までに実施し、理解を深める。
参考図書	眼科検査ガイド		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	就職ガイダンス	実習	就職活動について理解できる。 自己分析が出来る。履歴書が書ける。
2	就職ガイダンス	実習	就職活動について理解できる。 自己分析が出来る。履歴書が書ける。
3	臨地実習事前準備	実習	視力検査、屈折検査、眼圧検査、レンズメータ
4.5.6	就職模擬面談会	実習	模擬見学会、模擬面接
7	臨地実習事前準備	実習	臨地実習先発表 自己紹介書　清書
8	実習定期申請	実習	臨地実習準備　定期申請
9	臨地実習事前準備	実習	視力検査、屈折検査、眼圧検査、レンズメータ
10	臨地実習事前準備	実習	視力検査、屈折検査、眼圧検査、レンズメータ
11.12	臨地実習事前準備	実習	実習日誌配布 しおりの読み合わせ
13	臨地実習を振り返る	演習	臨地実習を振り返り、手技と知識を確認する 固視検査　両眼視機能検査(網膜対応検査を含む)
14.15	臨地実習を振り返る	演習	眼鏡と眼鏡処方について
16.17	臨地実習を振り返る	実習	臨地実習を振り返り、手技と知識を確認する 固視検査　両眼視機能検査(網膜対応検査を含む)
18.19	臨地実習を振り返る	実習	臨地実習を振り返り、手技と知識を確認する 固視検査　両眼視機能検査(網膜対応検査を含む)
20.21	就職、卒業に向けた準備	実習	国家試験問題の臨床問題を題材として臨地実習での知識を振り返る。
22.23	就職、卒業に向けた準備	実習	国家試験問題の臨床問題を題材として臨地実習での知識を振り返る。

科目名	臨地実習	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	柘植　貴子
		授業形態	実習				
（英）	Clinical Practice	時間数	450	授業回数		開講区分	後期
学科・コース	視能訓練士学科　夜間部	単位	10			曜日/時間	月曜～金曜（集中）

講師紹介	保有資格：視能訓練士、中学・高等学校教諭第一種免許 略　　歴：2004年より眼科クリニックに視能訓練士として豊富な実務経験を有する。2016年より視能訓練士専任教員。
目的	臨床現場に出た際にすべてのスキルにおいて参考となる手技・心構え等を吸収するため臨床において実習をする。
科目概要	視能訓練士として臨床現場に出た際に即戦力となれるよう、視野を広く持ち実習にあたってください。
到達目標	医療人としての常識と、視能訓練士として必要な知識及び実践的技能を修得する。 現場での医療職の在り方を認識し、チーム医療の一員としての責任と自覚を持つ。 視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　□実技試験　■その他（　　）

教科書	視能学、視能矯正学、眼科検査ガイド	事前事後学習とその内容	毎日の実習レポートを作成し、各施設の指導者に提出する。 実習終了後、該当施設のレポートをまとめて提出
参考図書	図解眼科検査法、標準眼科学、現代の眼科学、他レジュメ等		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1～30	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
31～60	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
61～90	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
91～120	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
121～150	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
151～180	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
181～210	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
211～240	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
241～270	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
271～300	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
301～330	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
331～360	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
361～400	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
401～450	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。
	臨地実習	実習	視能訓練士として必要な全ての検査項目について確実に実践できる。 実習ノートを作成できる。